



演劇ワークショップもコアとした 地域防犯ネットワークの構築



コミュニケーション能力が不足していると、犯罪などのトラブルに巻き込まれる可能性も。



うまく対処できなかったり、知らずに人を傷つけてしまったり...

コミュニケーション力を高めるには演劇が有効とされています。

疑似体験



記憶の定着

演劇を用いた防犯教育プログラムを開発しています。

子どもたちと一緒に
シナリオを考える



ワークショップ

保護者や地域の人たちに
向けて発表する



見守られていることへの
気付きや地域との
つながりも促進



地域、サイバー空間でおこる犯罪向けに、2種類のプログラムを作成しています。

防犯演劇ワークショップを指導できる人材も育成します。



成果を普及するために自治体などに政策提言を行っています。

